

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
だい8き だいねん だいいかい だいにち
(第8期 第2年 第2回 第2日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2011(平成23)年9月11日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者18人

おうたいら きよ かきん こう 輝、すずき しんきん ちん しー あん よんいる きん きんふあ ぼく ちやんほ たかはし ろき
王平、許可欣、耿輝、鈴木新琴、陳曦、安栄一、金祥和、朴昌浩、高橋ロサ、
なかもり じゅりあ みどり、アデイカリ スディーブ、呉潔、チャート デビト、中村
じゅでいす、なたにや じんきー おぼんご でけ おいで おりえった、エドモンド ダンカン
ジュデイス、那谷屋 ジンキー、オパンゴ デケ、生出 オリエッタ、エドモンド ダンカン

(2) 事務局

よこやま しつちやう きとう かちやう いいづか かちやう にしやま かちやう あべ かちやう ほき いいじま かかりちやう ゆかわ しゅじん
横山 室長、佐藤 課長、飯塚 課長、西山 課長、阿部 課長補佐、飯嶋 係長、湯川 主任
きたづめ しよくいん にしぐち せんもんちやうさいいん いん たーん しっぷがくせい にん
北爪 職員、西口 専門調査員、インターンシップ学生4人

4 傍聴者 9人

5 会議次第(公開)

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 事務局説明
- (3) 議事
- (4) 事務連絡

6 議事等の経過

【全体会】

おばんご 委員長「川崎市外国人市民代表者会議、2011年度第2回第2日を開催する。
傍聴者は傍聴者遵守事項を守っていただきたい。本日、オカンボス委員、
タオワン委員、柳澤委員、ダシドローヴ委員、コロンツイ委員から欠席の連絡が
あった。今日の日程と資料について事務局に説明をお願いする。」

(事務局佐藤課長が日程と配布資料について説明。)

おばんご 委員長「前回の会議のまとめの報告を事務局にお願いする。」

(事務局西口専門調査員が資料1に基づき前回会議のまとめを報告。)

事務局飯嶋係長「会議資料について、正副委員長部会長会議で審議された結果を報告す
る。事前研修で、会議資料は代表者の要望に応じて事務局が作成すると説明して
いるため、代表者が作成した資料は配付しないことが確認された。」

おばんご 委員長「部会審議に移ることとする。」

【社会生活部会】

チャート部会長「社会生活部会を開会する。前回の内容確認を事務局にお願いします。」
(事務局湯川主任が資料1に基づき前回会議の内容を説明。)

チャート部会長「続いて、今日の審議内容について事務局に資料を説明していただく。」

(事務局湯川主任が資料2-2に基づき、市の審議会、町内会・自治会等、市内のイベントについて説明。)

チャート部会長「市の審議会で、外国人が参加できないものはあるか。」

事務局佐藤課長「事務局で調べた結果、外国人が参加できないという規定はなかった。」

チャート部会長「審議会、町内会、イベントなどの外国人参加者数を知りたかったが、市では把握していない。」

中森委員「町内会に参加していない外国人でも、家の近所の祭りやおみこしに参加してることが、地域に参加するよいきっかけ。11月に多摩川国際マラソンがあるが、外国籍の方も参加できるという案内がある。外国籍の親子にぜひ参加してほしい。」

オパンゴ委員「町内会について外国人向けの説明がないので、町内会があること自体を知らない、参加する方法が分からない人というがいる。新しく来た外国人にどのように、町内会について理解してもらうかは難しい。区役所や市役所から町内会につなげてもらうようにするのはどうか。」

チャート部会長「各町内会・自治会で状況が違う。市が転入した人の情報を自治会や町内会に伝えることは可能か。」

事務局佐藤課長「個人情報なので、転入した人の情報を町内会に提供するの難しい。」

高橋委員「子ども会は参加しやすく、日本の文化の勉強にもなるし、ほかの保護者とコミュニケーションがとりやすい。最新の情報も得やすい。ハロウィンパーティーやクリスマスパーティーなど子どもが楽しめるイベントもあるので、子育て中の外国人に子ども会を勧めたい。」

オパンゴ委員「転入時に外国人登録窓口で、その人の住む地域の町内会と連絡先を説明することはできるのではないか。」

アディカリ委員「マンションなどの集合住宅では、住人の情報を町内会に報告するなど、連携を取っている例もある。そのため、個人で加入しなくても、回覧板で募金や防災訓練の情報が入ってくる。日本語なのでその情報が重要かどうか見分けるのも大変。」

那谷屋委員「一戸建ての家だと回覧板は確実に回ってくるが、集合住宅に住んでいる外国人には、町内会の情報は回ってこない。区役所が各地域で外国人のリーダーのような人を決めて、新しく転入してきた外国人にその地域のリーダーの連絡先を教えて「この人に聞けばわかります」と案内するのはどうか。外国人同士の夫婦や集合住宅に住んでいる外国人の家族、一人暮らしの人など情報が流れにくい人々に役立つ。国際交流センターだけでなく、各地域で外国人のグループがあれば町内会の情報も伝わりやすい。」

呉委員「私は団地に住んでいて、町内会があり回覧板も回ってくる。管理室に聞けば、わからないことは丁寧に説明してくれる。管理室に町内会の主な催しについて

多言語の説明が置いてあれば、日本語で理解できないときに役立つ。」
アデイカリ委員「町内会や自治会は、地域のボランティア的なもので、住民が自分たちのコミュニティのために活動している。町内会の資料は行政が作るのか。」
事務局佐藤課長「回覧板等で配布される情報は町内会で作ったものが多いが、市から回覧や配布をお願いする資料もある。」
チャート部会長「一般的な資料を多言語で市が作成し、町内会に配ることはできるか。」

事務局佐藤課長「具体的にはどのような資料か。」
チャート部会長「例えば、夏祭りについて一般的な説明を多言語で作成する。」
事務局佐藤課長「主なイベントについて多言語の説明の見本を市で作成し、各町内会がホームページからダウンロードして日にちだけ変えて使うというイメージか。」
チャート部会長「手続き上問題がなければ提言することはできる。」
事務局佐藤課長「問題があるかどうか、事務局で確認したい。」

中森委員「以前は国際交流センターで外国人向けに川崎市の多言語生活ガイドを配布していた。そこに川崎市内の情報やイベントの説明もあったが、現在は配布されていないので残念。初めて川崎に来た外国人は、外国人登録窓口に行った後、なるべく国際交流センターを利用して川崎のいろいろな情報をもらった方がいい。センターの外国人相談窓口で多言語の説明を聞くこともできるので、不安もなくなるのではないか。」

陳委員「各町内会のイベント情報などを、市で把握するのは難しいのではないかと。マンションなど集合住宅に住んでいると町内会を理解するのは難しい。道を歩いていて町内会の掲示板を見ることはあるかもしれないが、どこに町内会があるかわからない人が多い。」

耿委員「私達代表者会議では多言語でニューズレターを発行しているので、年金や町内会などの説明の記事を各号でコーナーとして載せるようにしてはどうか。」

チャート部会長「部会の審議で出たテーマ（行政の土日窓口・居住支援など）についてニューズレターにお役立ち情報として載せているので、そうした方法も有効。審議会も含めてその他の意見はあるか。（なし）ここまでの審議で、外国人の参加できるイベントは多いが、最近転入した外国人にどのように情報を提供するか問題だということが分かった。」

那谷屋委員「教会など、外国人の集まる場所に資料を置くようにすれば、情報が広がるのではないかと。」

陳委員「今日の資料にある、市内のイベント一覧は、どこに置いてあるのか。」

事務局湯川職員「市のホームページに載っている。」

陳委員「では、市のホームページを見ない人はわからない。」

事務局湯川職員「この情報は、ホームページのみで流している」と聞いている。」

中森委員「各イベントは市政だよりは掲載されているのか。」

事務局「すべての情報は載せていない。ホームページのほうが情報量は多い。」

チャート部会長「提言候補になるテーマを決めたい。事務局から説明をお願いする。」

（事務局湯川職員が資料2-3に基づき、社会生活部会のこれまでの審議内容のまとめについて説明。）

チャート部会長「今後のスケジュールだが、次回提言の候補を決めて、提言の内容の

審議に移りたい。私の意見だが、市のレベルでできるものを提言にしたほうが効果的だと思う。川崎市が国に働きかけても、国がすぐに動くかどうかわからない。では、提言したいテーマと提言したい理由を挙げてほしい。」

アディカリー委員「出入国管理を提言したい。理由は、日本全体として各国から仕事のために来る人が増えている。両親も含め家族の面倒を見るのは当然。親が日本に来られるようにしたい。もう1つは、住宅支援を提言したい。日本人だと賃貸住宅の月々の家賃と同額の負担で30年ローンを組んでマンションを購入できる。外国人は、30年以上日本に住めるかどうかわからないので、そこを考慮すると、住宅支援が必要。日本の民間賃貸住宅は、2年間の契約ごとに、更新料や保険金の負担がある。市営の場合は礼金・更新料などがなく、安定して長く住める。年金については、現在の取り組み状況がBなので、提言するかどうか検討したほうが良い。」

あと、情報の発信が問題になっている。行政もいろいろな情報を出しているが、ちゃんと受け取っていない外国人にも責任があると思う。お互いの情報の伝達がうまくいけばお互いにメリットは大きい。3月の震災で、外国人もこれまで以上に情報に注目するようになってきているので、市から出す情報を一括したところから発信するような仕組みがあるとよい。」

チャート部会長「外国人への調査を提言したい。川崎市の外国人の現状が把握されていないが、調査で実態がわかれば市の施策も効果的に進められる。もうひとつは、情報の問題。社会参加の情報を外国人にどのように届けられるかが問題。」

那谷屋委員「外国人の調査を提言したい。もう1つは情報。外国人の調査と1つにまとめた提言にできないか。出入国管理も提言したい。理由は、外国人は親といつも会えるわけではないので、寂しさもある。」

呉委員「社会参加を提言したい。情報も足りないし、日本人のグループに外国人がなかなか入りにくいというところもあるので、このテーマで議論を深めたい。」

耿委員「外国人への調査を提言したい。理由は、1993年に調査した時と状況が大きく変わっているので調査が必要である。」

高橋委員「情報が届かないという問題があるので、情報について提言したい。あと、外国人の住宅探しは難しく、問題が改善されていないので住宅支援を提言したい。」

オバongo委員「社会参加を提言したい。町内会の活動は、外国人にも関わりがある。川崎に何年住んでいても、町内パトロールの意味もわからないことがある。そうした情報がわかれば、積極的にこちらにも参加できる。その中で、活動に参加した外国人が自然と新しく来た外国人に声を掛けたりできていくのではないか。」

陳委員「調査と社会参加を提言したい。」

中森委員「情報について提言したい。外国人に情報が伝わりやすい方法を考えたい。外国人への調査も大切。この会議で審議しているような生活の課題や問題を話す機会がない人も多い。できるだけ多くの外国人の声を聞ける場があるとよい。」

チャート部会長「これまで留学生支援、労働、年金を取り上げたいという意見が出ていないが、欠席者もいるので、次回もう少し審議したい。今提言の候補として、出入国管理、住宅支援、調査、社会参加と情報が挙げられた。情報の問題は教育文化部会が扱うことになっているので、保留とする。次回の

正副委員長部会長会議で審議して、結果を報告する。テーマは2つに絞ることになる。」

那谷屋委員「欠席者もいるので、次回決めてはどうか。」

チャート部会長「決めるのは次回だが、どのように絞るか話し合いたい。」

那谷屋委員「外国人の調査・外国人市民の声を上げるシステムの中には、帰化した外国人を対象に入れるのか。以前の調査には含まれているか。」

事務局湯川職員「含まれていない。対象をどこまでにするか、この会議で話し合っ欲しい。実際に、帰化後何年以内という枠で、対象者リストを出すことが可能かどうかは、確認が必要。」

那谷屋委員「外国人の調査の対象に、帰化をした外国人を含める形で提言したい。川崎の外国人で帰化した人が何人いるかが分かるとよい。」

チャート部会長「提言にする段階で、技術的に帰化した外国人のリストを出すことが可能かどうか、検討する必要がある。」

耿委員「帰化を含めると、外国人と日本人の区別がつかなくなってしまう。帰化した人は対象に入れないほうがよい。」

チャート部会長「調査の具体的な内容については、提言候補になった後、話し合うことにする。テーマ選びについて意見はあるか。私は、出入国管理は提言しないほうがよいと思う。この問題は国レベルの問題であり、出入国のシステムが変わったばかりなので今提言しても効果が期待できない。この意見についてどう思うか。」

アディカリ委員「今課題だと分かっていることなら、5年後10年後はさらに改善の必要性が高くなる。今、我々が提言という形で市や国に示すことができれば、同じことを5年後に提言するよりも効果があるのではないか。」

那谷屋委員「皆が必要だと思っている提言なら、出すことがマイナスになるわけではないので、出してもよいと思う。」

チャート部会長「提言の数には正式な制限があるのか。」

事務局佐藤課長「数の制限はないが、施策に結びつけるためには、的を絞って提言したほうがよいと考える。」

チャート部会長「では、2つに絞ることを目指したい。次回、審議の最初に提言のテーマを多数決で2つ選び、提言の具体的な内容を決めたいと思うがどうか。」

那谷屋委員「2つという数に理由はるか。」

チャート部会長「過去の提言も各部会から、2つ程度出ている。また、提言の内容を細かく決めるために審議の時間が必要。残りの時間を考えると2つが限界だろう。」

那谷屋委員「それは、決まりということか。」

チャート部会長「部会として決めたい。提言の細かい内容を決める審議の時間を考えると2つが良いと思うが、正式な制限はないので、ここで決をとる。」

那谷屋委員「欠席者がいるので、次回決めてはどうか。」

チャート部会長「では、次回会議は、まず提言の数を決め、テーマを選び、提言の内容の審議に入ることにする。この案について賛成の人は手を挙げて。（全員賛成）では、そのように進める。」

アディカリ委員「次回テーマを選ぶときには、年金も候補に入るのか。部会でも時間をか

けて審議したので何らかの形でもう一回国に働きかけてもいいのではないか。」
事務局湯川職員「今日留学生支援と年金、労働について意見が出なかったが、次回選ぶ際には候補に入れるということでよいか。」

オパンゴ委員「年金についてはある程度時間をかけて審議したので、もう一度話し合うということか。」

事務局「年金・留学生・労働を除く残りのテーマから次回選ぶということでよいか。」

チャート部会長「この案に賛成の人は手を挙げて。」（賛成多数→決定）

チャート部会長「これで部会を閉会する。」

【教育文化部会】

エドモンド部会長「教育文化部会を始める。前回の内容を確認したい。」

（事務局西口専門調査員が資料1に基づき前回会議のまとめを読み上げ。）

エドモンド部会長「でははじめ問題の審議のまとめに入る。提言候補にする項目をいくつか絞るかについて意見はあるか。」

金委員「他のテーマでは2つか3つの候補を残しているのと同じようにしてはどうか。」

鈴木委員「⑩<通名（日本名）で通っている子どもが国籍、名前、アイデンティティのことで悩むことがある>は背景・理由になるので、候補とは別に残したほうがよい。」

エドモンド部会長「提言の候補としたい項目を挙げてほしい。」

金委員「資料1⑪<市全体でいじめのデータベースを作る>、を提言としたい。」

鈴木委員「⑨<三者面談で先生と学校の様子について話し合うことが大切>を選びたい。」

朴委員「⑩も提言候補として残し、今出ている⑪、⑨、⑫の3つとしてはどうか。」

金委員「⑪のデータベースについてだが、個々の事例のデータを集めることで、プライバシーの問題が生じる。データベースを作る際には個人が特定できないよう、プライバシーに配慮することに注意すべき。」

朴委員「現在市で持っている情報としては、プライバシーに配慮した結果、いじめの種類を分類して件数を出しているデータしかない。このデータでは、我々が話し合った問題の解決方法にはならないのではないか。」

王委員「私も⑪を提言したい。匿名であれば個別の事例を出すのは可能ではないか。」

許委員「⑭<保護者向けに外国語で相談できる窓口>を提言としたい。②と⑥、③と⑫、⑤と⑧、⑩と⑬はそれぞれ1つにまとめられるのではないか。」

エドモンド部会長「今、⑪、⑨、⑫、⑭の4つが候補に上がっている。ここから2つ、3つに絞るかどうかが、意見を聞きたい。」

王委員「事務局に確認したい。仮に提言にする場合、4つの項目全てを小項目として出すことは可能か。」

事務局飯嶋係長「今回絞るかどうかは、皆さんで決めていただきたい。最終的に大項目は各部会から2つずつ出すという形で絞ることになると思う。次回10月の会議のあとに臨時会がある。臨時会では、具体的な提言の候補を参加者に説明し、意見をもらうという形になるので、それまでにいくつか候補を絞ってもらえればよい。」

王委員「では、4つ出ている項目を重要度で順位をつけておいてはどうか。最終的にまと

めるなら、ここで2つに絞ってはどうか。」

朴委員「⑮については、候補とならなくても、提言の背景・理由にに入れてほしい。」

エドモンド部会長「ここで2つに絞るという意見に対して、他の意見はあるか。」

鈴木委員「4つそのまま残しておいたほうがよい。」

安委員「⑨と⑭は学校の相談に関する事なので、1つの項目にしてはどうか。」

鈴木委員「1つにまとめることが可能かどうか、事務局に聞きたい。」

事務局飯嶋係長「どのようにまとめるかは、皆さんで話し合っていたきたい。」

安委員「⑨については3者面談、先生と話し合う機会に、外国語で話せる通訳が今いるわけではないので、先生と話し合う機会には、通訳が利用できるようにする、という項目にしてはどうか。」

エドモンド部会長「他に、反対意見がなければ、いまの意見のとおり、1つにまとめる。(反対意見なし。)では、候補として残すのは3つの項目になった。」

安委員「⑮の子どもが通名を使っているということは、子ども自身の問題というよりは保護者の考え方の問題だと思う。在日韓国・朝鮮人は日本生まれ、日本育ちで、通名を持っている人が多く、そのほうが楽に過ごせるということもあり、使っている。経済活動においても、商売しやすいという理由で通名を使用している。こうした状況が背景にあるので、この項目は、いじめというテーマに適さないのではないか。」

朴委員「私は日本の学校に通って日本の名前を使っていた。本名で通っていた子がいじめられたという例は自分自身も目の当たりにしている。通名の使用は保護者が決めることであっても、高校入学を期に本人が本名から通名に変えてしまった、あるいは「おまえ朝鮮人、韓国語人なのか」というクラスメイトとのやりとりの中で、本人の希望で日本名に変えた例も知っている。経済面などの背景もあるが、いじめの項目としていれてもよいのではないか。」

エドモンド部会長「では、今残っている3つの項目を残すか、さらに2つに絞るか決めたい。」

<採決> 案 項目を2つに絞る

項目を3つにする。(賛成8人→決定)

エドモンド部会長「では、3つに決定した。次に情報の審議に移る。事務局説明をお願いします。」

事務局西口専門調査員「情報については、前回資料について説明したが、特に意見は出なかった。6月の会議で社会生活部会で情報について意見が出たが、正副委員長部会長会議で、この社会生活部会の意見を教育文化部会の審議の参考にすることが決まったため紹介させていただきます。①市からメールで情報配信ができるシステムがあるとよい。②情報はやさしい日本語で送った方がよい。③地震のとき広報車の放送が聞き取りにくかった。④大切な情報は企業にも伝えてほしい。⑤ニュースで日本全体のことはわかっても、川崎市、自分の住んでいる地域の情報がわからない。この5つの意見を含めて、情報について審議していただきたい。」

エドモンド部会長「私の意見だが、川崎市や私たち外国人代表者会議のウェブサイトをもうちよっと工夫して、様々な情報を発信できるようにしたい。そういう情報をメールで配信するシステムがあるとよい。」

金委員「エリアメールという、大きな地震の時などに市から配信されるメールがある。

文章は漢字が多く、日本人向け。地震や津波などの緊急情報が送られてくる。」

エドモンド部会長「そのような情報を易しい日本語で送ってはどうか。」

金委員「地震のときには電話やインターネットはつながらないが、メールは比較的早く

回復したので、やさしい日本語で配信されれば効果的な情報ツールとなる。」

エドモンド部会長「金委員の意見は①と②を合わせた意見と考えられる。」

朴委員「エリアメールのほかに川崎市から災害や大雨、洪水警報などが配信されるサー

ビスに登録している。私は日本語のものを登録しているが、外国語のサービスが

あるかは分からない。」

生出委員「外国語のメール配信サービスがあればとても便利になる。」

王委員「市からメールで情報配信するシステムに賛成。外国語があればいいが、携帯の

メールでは、中国語や韓国語は文字化けしてしまうという問題がある。」

朴委員「携帯メールで情報を得ている人が多いので、文字化けの問題は大きな問題。」

エドモンド部会長「学校からPTAに対する連絡もメールではないか。」

鈴木委員「学校からメールで緊急連絡が入ることがある。全て日本語になっている。

中国語で送られたとしても文字化けするので、多言語化しても効果はない。」

エドモンド部会長「では、外国人保護者に対しては、直接電話するという方法になるの

かもしれない。日本語のメールを日本人の知り合いに見せて読んでもらうのが

一番早い。」

事務局飯嶋係長「川崎区ではCVK（かわさきコミュニケーションボランティア）の

協力で多言語で情報を携帯へ配信している。中国語もある。川崎区のホームページ

に申し込み方法が載っている。」

朴委員「川崎区以外の区ではこのサービスはやっているのか。」

事務局飯嶋係長「やっていない。」

エドモンド部会長「では、今まで出た意見を⑥、⑦、⑧として追加する。①と②は1つ

にまとめる。これで7つの意見が出たが、提言候補にするものを絞るか。」

王委員「社会生活部会で出た意見も含めて、この部会でまとめてよいのか。」

事務局西口専門調査員「社会生活部会は、情報については提言のテーマに入っていない

ので、情報として何を提言候補にするかは、教育文化部会で決める。」

エドモンド部会長「他に1つにまとめられる項目があるかどうか聞きたい。」

鈴木委員「③と⑤はまとめられるのではないか。」

王委員「①に取り組むことができれば、③と⑤の問題は解決する。したがって、①を提言

することが重要。」

エドモンド部会長「①のメール配信システムは今あるのではないか。」

王委員「外国人を対象としたメール配信サービスはない。」

事務局飯嶋係長「現在もエリアメールなど、川崎市からいろんな情報を発信している。

それをどのような形で改善したらよいか、というのは提言の材料になる。」

朴委員「電信柱等にスピーカーがあり、災害時情報が流れることがある。実際には音が広

がってしまい、高齢者にも聞き取りにくい。メールのほうが、確実。」

事務局飯嶋係長「メールやウェブサイトの話が進んでいるが、高齢者、障害者など幅広

い人々にとって使いやすいものかどうかの配慮も必要ではないか。」

朴委員「一人暮らしの高齢者や障害者などに対して、緊急時に町内会や民生委員が避難の

手助けをするような制度があると思う。」

エドモンド部会長「障害者や高齢者はメールを使えないので、テレビやラジオ、近所の
人との関係で情報を得ることになる。」

中村委員「情報だと、自分で取りに行かない人もいるので、ニュースやテレビが一番
効果的だろう。」

朴委員「市からの情報配信については、外国人に配慮してということに加えて、高齢者
や障害者にも情報配信ができるようにという、一文をいれてはどうか。外国人で
高齢者、障害者という人もいるので、そうした人々に情報配信できるシステムに
してほしい。」

エドモンド部会長「しかし、メールが使えないという問題が残るので、テレビやラジオ
などの情報ツールを使う必要がある。では、この中から候補として残す項目を3
つ程度選びたい。」

王委員「①②⑥はひとつにまとめた項目にしてはどうか。」

エドモンド部会長「では、その案について賛成のひとは挙手して。」（賛成8人）

エドモンド部会長「では、1つの項目にする。」

朴委員「⑨<障害者・高齢者への配慮>は提言の背景・理由にしてはどうか。」

エドモンド部会長「あと、③④⑤が残っている。④は大切な情報は企業に伝えて欲しい
という案。」

事務局西口専門調査員「④は社会生活部会で出た意見だが、皆さん会社や工場などの
職場があるので、職場で外国人に必要な情報を知ることができると、より多くの
人が情報を得る機会が増えるのではないかという提案。」

エドモンド部会長「外国人が何百人も働いている工場があるので、そういうところに
情報を流せば伝えやすいと思う。④は候補に入れたほうが良い。」

鈴木委員「⑧は今実際にあるシステムなので提言候補にする必要はない。」

エドモンド部会長「では、①②⑥をひとつにまとめた項目については、決定している。
その他については、④、③と⑤をひとつにまとめたもの、という2つの候補が出
ている。まず、④を候補に残したい人は挙手して。」（賛成4人）

エドモンド部会長「③と⑤を残したい人は挙手して。」（賛成0人）

エドモンド部会長「では、①②⑥をひとつにまとめたものだけを候補とする案に賛成の
人は挙手して。」（賛成6人）

エドモンド部会長「①②⑥をひとつにまとめたものと、④の2つを候補としたい人は
挙手して。」（賛成3人）

エドモンド部会長「では、①②⑥をひとつにまとめたもののみを、提言の候補とする。
次に保育園の審議に移りたい。資料の説明をお願いする。」

（事務局西口専門調査員が資料3-2、3-3に基づき、待機児童数と保育所入所のと
きに、優先される基準について説明。）

エドモンド部会長「保育園について何か意見はあるか。」

朴委員「働きたくても子どもを預けられなくて、就職を断念してしまった例がある。
日本人も入れないという事実もある。また、兄弟が別々の保育園に入ることにな
り、保護者が3ヶ所の子どもの送り迎えをしなければならぬ例も知っている。
川崎市の保育を少しでも改善したい。資料3-2にある川崎市川崎保育プランは
今市で取り組んでいるところなので、それを推進してほしい。」

エドモンド部会長「私の子どもの保育園に通わせている保護者で、やはり兄弟別々の保育園に入れていて、とても大変そうだった。」

事務局飯嶋係長「時間になりましたので、次回続けてお話いただきたい。次回が臨時会の前の会議になるので、提言の候補を2つ3つ絞っていただくことになる。回りの会議に必要な資料があればここで挙げていただきたい。」

金委員「テーマごとに絞った項目があるので、それを整理して資料として出して欲しい。」

エドモンド部会長「では、教育文化部会を閉会する。」

【全体会】

オパング委員長「全体会を再開する。各部会の審議内容を報告してほしい。」

[社会生活部会]

チャート部会長「今日はまず、社会参加について審議した。市の審議会などと町内会・自治会と市内のイベントに分けて審議した。市の審議会等とは、この代表者会議とか、川崎市青少年問題協議会とか、川崎市市民会議などのこと。外国人が参加できない審議会はないが、どのぐらい外国人が参加しているかについて市が把握していない。次に町内会・自治会について説明を受けた。外国人は参加できる。市内のイベントは、外国人が参加できるが、外国人の参加者数は把握されていない。出た意見は、国際マラソンのイベントがあり、外国人に参加してほしいという案内があった。また、町内会と自治会について、どうやって外国人が参加できるかという問題、一軒家、マンションなど住む場所によって、町内会の情報が入るかどうかが異なる。マンションに住んでいる外国人は町内会の存在さえ知らない場合もある。町内会には子ども会があることが多いので、参加するよききっかけになるという意見があった。回覧版等の情報について、回覧版には日本語の情報が多く、外国人には内容がわかりにくい。どうやってこの情報を簡単に、スムーズに、円滑に外国人に伝えるかについての意見交換があった。

今まで審議したテーマで何を提言にしたいか、について意見交換した。出入国管理、住宅支援、外国人を対象とする調査、社会参加が候補に上がった。情報の問題も出た。社会生活部会で情報が足りないという問題が何回も上がっているが、教育文化部会の審議テーマとなっているので、今後正副委員長部会長会議で話し合うことになった。最終的な提言のテーマを決める方法についても、話し合った。」

[教育文化部会]

エドモンド部会長「今日は、まずいじめの審議の中で出た意見から、提言の候補にするものを絞った。⑪のいじめのデータベース、⑨三者面談が大切、と⑭保護者向けの外国語相談窓口をひとつにまとめたもの、⑮通名で学校に通っている子どもがアイデンティティのことで悩むことがある、という3つの項目に決まった。

次に情報について審議した。社会生活部会から出された意見と、教育文化部会で出た意見をあわせて絞った。決まった項目は、①メールの情報配信システム、②情報はやさしい日本語で配信する。⑥ウェブサイトを活用して情報発信する。この①②⑥をひとつにまとめたものが提言候補となった。保育園については、話し合う時間がなかったので、次回続けて審議したい。

オパング委員長「提言の候補はテーマごとに決まっているのか。」

エドモンド委員「これまで審議したテーマで候補が決まっていないのは保育園だけ。あとのテーマについては候補は絞られている。」

中森委員「保護者向けの相談窓口があればよいという意見が出ているが、神奈川県の外
国人相談窓口は一般相談、法律相談のほか、教育相談も多言語でやっている。
パンフレットを置いておくので、参考にしてほしい。」

オバンゴ委員長「情報については、社会生活部会でもう一度話し合いたいということだが、詳しく説明して欲しい。」

チャート部会長「教育文化部会で情報を提言するようなら、社会生活部会では審議しない。次回正副部会長会議で確認したい。」

アデイカリ委員「ウェブサイトを活用した情報発信についてだが、情報の内容は教育に関するものだけか、一般的な情報も含むのか。」

エドモンド部会長「内容は、教育だけではなく、緊急情報や一般的な生活情報も含む。」

[各種実行委員会報告]

- 臨時会実行委員会：今年度の開催案（当日のスケジュール、広報など）について報告。来年度の会場案として、ミューザ、産業振興会館などが候補に挙げたことを説明。
- ニューズレター編集委員会：No. 43の記事案・レイアウト案について説明。
- かわさき市民祭り実行委員会：当日の役割分担、チラシ案、テント内の企画について説明。前日の手伝い、民族衣装の提供、楽器やお茶の提供を呼びかけた。
- 多文化フェスタみぞのくち実行委員会：開催日のスケジュール、参加者役割表案について説明。

[その他]

(事務局飯嶋係長から事務連絡)

オバンゴ委員長「これで、本日第2回第2日の会議を閉会する。」